

「北軽井沢のカラマツ」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

東京はやっと紅葉が始まったところだが、北軽井沢は晩秋・・・いや、晩秋も終わりかけている。今朝の気温は0℃、落葉に霜が降りていた。



ほとんどの木々が、すでに葉を落としていいる中で、最後まで、美しく秋色に輝いているのが、カラマツだ。カラマツは、日本では唯一の落葉針葉樹の高木である。秋の始めは黄緑色から黄色になり、最後は金色になる。晩秋には、風が少し吹くと、一斉に葉を落とす。その様子が、まるで黄金の雪が降っているようで、実に美しい。しかしこの様子を、写真に撮るのは難しい。

カラマツがすっかり散ると、北軽井沢にも冬が来る。11月の浅間山麓は、葉も散っているのに雪はなく、冬枯れの風景になる。しばらくは、つまらない風景が続く。じきに、浅間の初冠雪の便りが届くだろう。



「北軽井沢のカラマツ」 まさに黄金色の森。



「標高 1400m のカラマツ」 ほぼ葉を落としていいる。

「落葉松と浅間山」 二度上峠中腹より 2015, 11, -1

